

令和 8 年度関東農政局国営事業管理委員会（再評価）「茨城中部地区」
技術検討会（第 2 回）

令和 8 年 7 月 30 日

国営事業管理委員会技術検討会委員長から国営事業管理委員会委員長への答申

【技術検討会の意見】

本事業は、ほ場整備の実施により、担い手への農地の利用集積・集約化を推進し、農地の生産性の向上並びに耕作放棄地の解消及び発生防止による優良農地の確保を図ることで、水田を中心とした農業の振興及び地域の活性化に資するものである。

ほ場整備が実施されたほ場においては、大区画化等による作業効率の向上が認められるほか、農地の利用集積・集約化がすでに進行し、農業者及び関係機関からも高い評価を得ており、事業効果の発現が確認されている。また、開水路への蓋掛けによる水棲動物のほ場間移動の容易化や、排水路での瀬淵工といった取り組みが行われ、地域の生態系保全への配慮も行われている。

今後は、関係機関との連携の下、担い手への農地の利用集積・集約化を一層推進するとともに、大型機械の導入や先進的な営農技術の活用、高収益作物への転換等を進めることにより、営農経費の節減をはじめとする事業効果の更なる発現に努められたい。

また、引き続き事業費の縮減に努めるとともに、環境との調和に十分配慮しながら、着実な事業の推進を図られたい。